

■温室効果ガス削減の目標

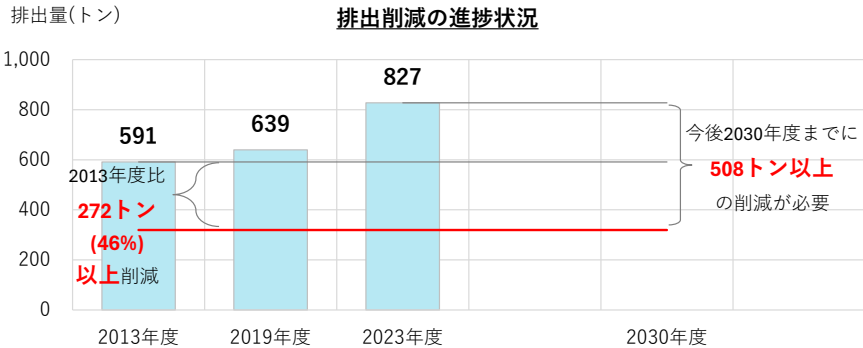
|        | 削減目標（政府目標値）          |
|--------|----------------------|
| 2030年度 | 2013年度比 46%（272トン）以上 |
| 2050年度 | カーボンニュートラル           |

■温室効果ガス排出量の推移

八尾空港の2023年度の温室効果ガス排出量は、2019年度比188トン増加の827トンである。  
2030年度の削減目標（2013年度比46%以上の削減）の達成には、今後508トンの削減が必要である。

|      | 温室効果ガス排出量(トン) |        |        |
|------|---------------|--------|--------|
|      | 2013年度        | 2019年度 | 2023年度 |
| 空港施設 | 512           | 547    | 737    |
| 空港車両 | 79            | 93     | 90     |
| 計    | 591           | 639    | 827    |

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数・・・2013年度：0.475、2019年度：0.334、2023年度：0.434

■2019年度～2023年度の温室効果ガス排出量の増減背景

八尾空港では、脱炭素化施策の取組が行われているが、主に契約されている電力会社の排出係数の上昇や、航空機の運航回数がコロナ禍前（2019年度）の96%まで回復していることを背景に、温室効果ガス排出量は2019年度に比べて増加した。

■脱炭素化施策の取組状況

|              |                                                                                                       |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 空港施設に係る取組    | <div>➢ 建築施設照明のLED化や省エネルギー運用、空調の高効率熱源の導入、空調・換気の省エネルギー運用の取組が行われた。</div> <div>➢ 航空灯火のLED化の取組が行われた。</div> |
| 空港車両に係る取組    | （当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし）                                                                              |
| 再エネ導入促進に係る取組 | （当該期間に新たに実施した取組に関する情報なし）                                                                              |
| その他の取組       | <div>➢ 再エネ由来の非化石証書を活用した電力を導入した。</div>                                                                 |